

## ●技術情報

### Q&A

---

#### [6] 作物別施用法（野菜類）

---

##### Q6-4-21 アスパラガスにはどう使えばよいのでしょうか？

**A6-4-21** アスパラガスは多量の肥料を必要としますが、石灰窒素の窒素分は緩効性なので有効に吸収されます。

石灰窒素を秋冬期に60 kg / 10a を全面に散布しておく、春先まで効果が持続するとともに秋肥としての効果もあり、さらには根雪直前に散布すると野鼠の食害対策にも効果があります。また、春先融雪直後、萌芽2～3週間前に基肥と除草を兼ねて10a当たり50～70kgを表面散布することもでき、長野県の農家では、基肥と消雪を兼ねて10a当たり100kg施用して効果をあげています。

地力増進対策として、緑肥作物と石灰窒素を併用し増収した事例を(表 6-4-17)に示しました。

表6-4-17 アスパラガスに対する石灰窒素とソルゴーによる土づくり効果

(福島県岩瀬農業改良普及所)

	4 月			5 月			6 月			合計 kg	収量 比
	上	中	下	上	中	下	上	中	下		
石灰窒素区			30	270	375	330	303	214	50	1,572	113
対 照 区			15	255	360	306	273	129	50	1,388	100

備考) ソルゴー:7月7日播種、9月10日すき込み(石灰窒素 66kg 施用、深耕)